



白迷宮



山口亜哉子

目次

白迷宮.....2

幸福

赤夢.....3

rhythm

必然.....4

風化

殘華

希求

自己嫌惡.....5

spurious

足音

諦觀.....6

双極性

負荷

七夕.....7

宴

現實.....8

銀月.....9

unholiness

揺籠

絶対値

白迷宮 ハクメイキュウ 2003.1.1(wed)

銀の月 降る降る
千の星 降る降る
雪の原はどこまでも
どこまでも果てしなく

この道はどこへつながっているの？
答えは雪の中 白い闇
私はどこを歩いているの？
吸い込まれて消えてしまいそう

――消えてしまえたら？

私は何を求めているの

幸福 コウフク 2003.1.12(sun)

わたしは しあわせ
しあわせだよね？
かぞくも ともだちも
しんぱいしてくれるひとは
たくさんいるよ？

なのにどうして からっぽなんだろうね

赤夢 セキム 2003.1.14(tue)

そんな馬鹿なことは、私、絶対にしないよ。

でもね。想像するの。

三階から見下ろした地面、
向かってくる車のライト、
手首と鈍く光る刃。

想像するだけだよ。

しないけどね。

rhythm リズム 2003.1.15(wed)

強くならなくちゃ
強くならなくちゃ
真っ白な道を歩きながら
私は口ずさむ

あなたを忘れずに
泣かずに
凜として生きられるように
私は強くならなくちゃ

ざく、ざく、と
雪を踏む音が 夜に染みていく

必然 ヒツゼン 2003.1.21(tue)

私はいつか
あなたを忘れてゆく
ゆるやかに
そうと気づかぬ間に
いつか
きっといつか

風化 フウカ 2003.2.22(sat)

あなたの写真を見ても
心が軋まなくなりました
そのことが
今はとても哀しいのです

残華 ザンカ 2003.3.11(tue)

あなたを追いかけていた日の記憶を
傷とは受けとめたくないのに
思い出の欠片を手にとることすらできない

希求 ケク 2003.3.16(sun)

私が永遠を求めるのは
決して叶わぬと知っているから

自己嫌悪 ジコケンオ 2003.4.1(tue)

もうあんな想いはしたくないから、
次に恋するときは全然違う誰かを。
そう思うことがあなたを否定するみたいで、

そんな自分が嫌になる。

spurious スプリアス 2003.4.2(wed)

この耳を切り落とせば
何も聞こえなくなると言うのなら
あたしは喜んでさしだすわ

足音 アシオト 2003.4.10(thu)

幻聴の海の中で
私は聞こえぬ音を聴く
私の聞きたい音を聴く
白い雪がぷちぷちと弾ける様を
日の光を浴びて融けていく様を
春は、すぐそこまで

諦観 テイカン 2003.4.23(wed)

自分が役立たずであるばかりか
足手纏いですらあることを
認識せざるを得ぬ瞬間、
衝動的にこの左手首を掻き切りたくもなるが。
その程度でいちいち死んでいては
これまでの人生、百回以上は死んでいないと
勘定が合わないよ。
と思い直し、とりあえず今日も生きていく。

双極性 ソウキョクセイ 2003.4.24(thu)

今でも。
あなたのことだけ考えている。
それはとても素晴らしいこと、
それはとても苦しいこと。

負荷 フカ 2003.5.12(tue)

夜が来ると潰されそうになる。

あなたが好きでした、
あなたが好きです、
今でも。

忘れずにいること、
自分で望んだ筈なのに。

七夕 タナバタ 2003.5.19(mon)

また、逢えるね。

夏になれば。

あなたの心に別の人がいっても、

逢えるだけで構わないから。

宴 ウタゲ 2003.7.27(sun)

夢の中

わたしは

おねえちゃんと

お客さまをおむかえする準備をしていました。

お皿をならべたり

料理をもりつけたり

一生懸命お手伝いをしていました。

お客さまがやってきました。

先生

お友だち

そして

あなたが

そこで、目が覚めました。

本当に待っていたのは

たったひとりだったのです。

現実 ゲンジツ 2003.10.14(tue)

喜んでいいのか、哀しんでいいのか、
わからないけれど。

私は。

あなたなしでも、生きていける。

銀月 ギンゲツ 2004.1.9(fri)

全てを射抜くような月の光
冴え冴えと
私の心など射殺してしまえ

unholiness アンホーリネス 2004.6.10(thu)

女神にも聖女にもなれやしない
醜い私で 生きるしかないんだから

揺籠 ユリカゴ 2004.6.13(sun)

車に揺られながら、
音楽を聴きながら、
ふと思う。
今、ここで、
眠るように死んでしまっても、
私は、幸せだと。

絶対値 ゼットイチ 2004.6.13(sun)

不幸の重さを他人と比べても仕方がないよね。
と、
唱えるように言い聞かせて。

白迷宮

<http://p.booklog.jp/book/51721>

著者：山口亜哉子

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/ayaapril/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/51721>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/51721>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ